



残暑お見舞い申し上げます

7月「梅雨明け十日」と言われるように、安定した晴天が続き、各地で「酷暑日」が多く、「暑さ厳しい夏本番の青空」が広がりました。8月は引き続き、「東日本、西日本を中心に厳しい暑さ」が続き、気温は平年より高くなる見込みで、特に8月上旬は「太平洋高気圧」に覆われて全国的に「厳しい暑さ」が予想され、「にわか雨や台風の動向」にも注意が必要です。「こまめな水分補給と涼しい場所での休息」で、ご自愛ください。

8月は「歯に関する記念日」が多くあります。

「8月1日：歯が命の日」、8（歯）、命（1）の語呂合わせで、健康的で美しい歯の大切さを考える日。

「8月8日：歯並びの日」、8（歯）と8（歯）がきれいに並んで。正しい歯並びの普及を目指す日。

「8月18日：デンタルフロス・糸ようじの日」、8（歯）と8（歯）の間に1が挟まり、歯と歯の間に糸を通して見えるように見えます。

「8月21日：ホワイトティースデー」、8（歯）2（に）1（いい）の語呂合わせで、大切な人にお口の健康を送る日。

「8月24日：歯ブラシの日」、8（歯）2（ブ）4（ラシ）の語呂合わせで、口腔ケアへの関心を高める日。

「8月は8（歯）を連想」することから、「オーラルケア意識の向上」を促進するために、「歯に関連する記念日」が多いようです。私も知らなかった「記念日」がたくさんあったので、びっくりしていますが、「皆さんご自身の歯の健康」への関心を高めて、「健康寿命」を延ばしていきましょう。



歯周病はなぜあまり痛まないのでしょうか？

「歯周病の炎症が進行していると歯医者さんから指摘がありました。でも、自覚症状があまりありません。歯周病は痛みが出ないのでしょうか？」という疑問があります。

「歯周病」は、「歯周ポケット」で増殖した「歯周病菌」が起す病気です。「歯周ポケット」の中で炎症が起こり、その影響で「歯槽骨が溶け、腫れたり、血や膿が出る」などしながら悪くなっていきます。しかし「沈黙の病」と呼ばれるように実際にはほとんど痛みがありません。それは「歯周ポケット」が外に向かって開かれて、「血や膿」も出入り自由なので、「歯周ポケット内部の内圧」があがらず、歯肉の周りの「痛みのセンサー」が圧迫されないため痛みが出にくいのです。しかし、「歯周病」がかなり進行すると、「歯周ポケット」の深いところで炎症が起こり始めます。するとそこは閉鎖空間なので、外に出る事の出来ない「膿や腫れた組織」によって内圧が高まり、「痛みのセンサー」を圧迫して痛みが起こります。「治療」として、膿の溜まった部位を「切開」して膿を外に出すと内圧が下がり痛みが軽減します。

このように、「歯周病」はかなり病状が進行するまで痛みが出にくいのが特徴です。気づいた頃には「歯がグラグラ」になり手遅れという場合もありますので、痛くないから大丈夫だと思わず、日頃から、「歯周病・歯周ポケットのチェックとメンテナンス」を心がけるとよいと思います。



8月のお知らせ

- 「ハヤカワ歯科のホームページ」では、「当院の診療方針」や「ハヤカワ歯科インフォメーション」のバックナンバーを掲載しています。これからも、皆様のお役に立つ情報の提供と内容の充実に努めてまいります。

<http://www.hayakawashika.com/>「ハヤカワ歯科松戸市小金原」

検索でお願いいたします。

- よく噛める、しっかり飲み込める、むせない、お口が乾燥しない、滑舌が良くなるなどの「お口の機能の維持」のための「オーラルフレールの検査」、「オーラルフレールのトレーニング」を行っています。

日曜診療日（9時～13時30分）

8月9日、23日 / 9月13日、27日